

時間	スケジュール
	受付
7:30	開会宣言 点 鐘
7:32	ロータリー ソング
7:34	四つのテスト 唱和



今朝の15Fシャルムからの旭川市内



受付・左から武田・宮永・林事務局・嵯城・飯塚・坂本会員



例会常設会場 15階 シャルム

妹尾佳晴 会場監督

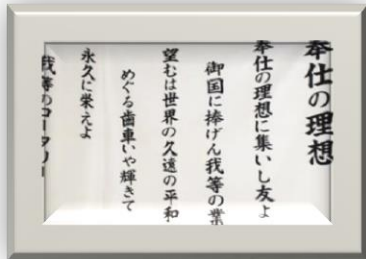


” 只今より旭川モーニングロータリークラブ  
 第1059回例会を開催致します。”  
 ” 高見一典会長 点鐘をお願い致します。”



高見一典会長点鐘

♪ 奉仕の理想♪



本日の”四つのテスト”は  
 嵯城俊明会員です。  
 嵯城会員お願い致します。



時間	スケジュール	
7:36	会長挨拶	<p>高見一典会長</p>  <p>おはようございます！今朝方はかなり冷え込みましたが、今年の根雪はいつ頃になるのでしょうか？  今日は、昨年度2014-15年度の会計担当であった石川会員から、大変ご苦勞を頂き決算書が出来ましたので後程、説明方々ご報告を頂きます。さて、今週月曜から昨日の水曜日に掛けて行政視察研修を東京近辺に3市訪れ帰ってきました。  東京方面の気候は最高気温+20℃まで達し、大変暖かく同じ日本でありながら大きな温度差をつくづく感じました。  また、旭川空港から羽田までのANAとエアード共同運航の往復便は共に満席状態でした。  本市において、東南アジアや中国等からの海外からの観光客入込数は過去最高を記録しており、搭乗した飛行機には海外観光客は全く見受けられず、多分、直行便とチャーター便によるものと思われます。以上簡単ですが、よろしくお願ひ申し上げ挨拶と致します。</p>
7:37	会務報告	<p>宮永憲一幹事</p> <p>1) 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま188收受。</p> 
7:38	3分間スピーチ	<p>嵯城俊明会員</p>  <p>私は学校薬剤師として、また子供の小学校のPTA役員として、そして実際、3人の子供の親として挨拶の中で良く好んで使うフレーズがございます。それはこんな一節です。「子供たちが運動会や学習発表会などで頑張る姿は見ている者に感動を与えます。子供たちはそんな見ている者に感動を与えられるような素晴らしい能力を兼ね備えた素晴らしい存在なのです。ですからもっともっと自分に自信を持って、もっともっと自分を大切にしてもらいたい。」という一節です。ではこのフレーズには私のどんな思いが込められているかと言いますと・・・。たとえるならば「テストで100点を取れなかったっていいじゃない。100mを10秒で走れなかったっていいじゃない。結果じゃないんだよ。頑張ったという経過が大事なんだよ」という思いです。更に誤解を恐れずに言うならば生きていて、そのことが大事なんだよ。という思いです。今、全国津々浦々にある調剤薬局は自殺者に対するゲートキーパーとしての役割が模索されております。これから私は人間として切磋琢磨して、また薬剤師として切磋琢磨して、患者さんのそばに、患者さんの心に寄り添う薬剤師になることをここに、謹んでお誓ひ申し上げます。</p> 
7:40	食事と懇談	 <p>15階 シャルムにての朝食と懇談</p>  <p>15階 シャルムにての朝食と懇談</p>  <p>15階 シャルムにての朝食と懇談</p>  <p>15階 シャルムにての朝食と懇談</p>



15階 シャルムにての朝食と懇談



朝食 menu



食後の至福 coffee time

8:00 前年度  
会計報告

石川千賀男前年度会計



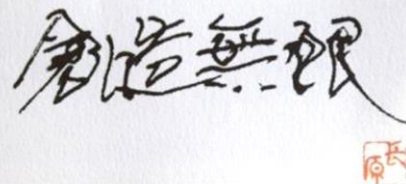
旭川モーニングロータリークラブ  
2014～2015年度 収支報告書（平成27年10月20日現）  
収入の部・支出の部報告。

8:15 委員会  
スピーチ

桑原義彦会員



### 株式会社カンディハウス相談役 (故)長原賢と私の出会い



世界への目を開かせてくれた長原さん。  
ちょうど私とは一回り年齢が上の長原さんは、私にとって常に目指すべき先輩であり、様々な刺激を与え続けてくれる存在です。私や旭川の家具業界に、広く世界への目を開かせてくれたのも長原さんでした。  
私が初めて長原さんの存在を意識したのは、旭川市が木工青年に対する海外派遣技術研修生を募集し、派遣される三人の中の一人が長原さんだという新聞記事によってでした。これを受けて長原さんは、一九六五年から三年間、西ドイツの家具工場で働き、西欧の家具製作とデザインを学ぶ機会を得たのです。そのころ私は、職業訓練校を卒業して旭川市内の家具製作所に入社したばかりの十八歳。この記事に大いなる刺激を受けました。「そうか、家具職人でも、海外で経験を積む機会があるんだ。自分も海外で学べるように頑張ろう」と自分自身に誓ったのでした。

次回の研修生募集には必ず応募しようと思っていた矢先、なんと旭川市の研修制度は中止になってしまいました。海外で学ぶという夢が打ち砕かれて落ち込む私に「海外へ行けるのは研修生だけじゃない。「技能オリンピック世界大会」というのがあるよ」と教えてくれたのは、当時事業内訓練校で指導してくれていた遠藤先生でした。先生の一言で私は技能オリンピックに出場し、夢だった海外（そのときはスペイン・マドリッド）の舞台上、銀メダルを獲得することができたのです。短期間とはいえ、海外での経験は想像以上に大きなものがありました。日本の技術は世界に通用するという自信を得た一方で、知識、語学、職人の社会的地位など、日本とは大きく異なる環境を実感しました。短期間でさえ様々なことを考えさせられたのですから、長原さんのドイツでの三年間は、多くのものを学び取るまたとない機会だったことと思います。

さらに長原さんは、研修後も半年間、中古車を買ってヨーロッパ中の美術館や博物館、街並みなどを見て回ったのです。旭川家具の歴史に詳しい木村光夫さんはその著書『旭川家具産業の歴史』の中でこう書いています。

「ヨーロッパでの生活は、彼（長原さん）に大学以上の教養と学識と、家具に対する見識を身に付けたと思われる」と。私も全く同感です。このヨーロッパでの生活体験が、やがて「高いデザイン力を持つ高品質な旭川家具」の発展へとつながっていく事になりました。

### 卓越したリーダーシップで新事業に挑戦

ヨーロッパから帰国した長原さんに会ったとき「この人が長原さんなんだ。日本人離れているな」と感じたものです。小柄で眼光鋭く、彫りの深い顔立ちで、独特の存在感がありました。やがて長原さんは「インテリアセンター」を設立、これまで思い描いてきた企業経営や管理方式、デザイン性を重視した理想の家具作りに全力を傾けます。旭川家具工業協同組合でも、理事～副理事長～理事長としてリーダーシップを取ってきました。私は私が最初に理事になったとき長原さんは副理事長でしたが、「長原さんの言っていることがわからない」と、度々くっつかかかったものです。お互いにイノシシ年なので、本気のぶつかり合いです。私も経験を積むうち、長原さんの「地場産業としての旭川家具を発展させたい」という思いに強く共感し、今日に至っています。長原さんのリーダーシップで、旭川家具工業協同組合では様々な新規事業にも取り組みました。最初は理事の間から「舶来かぶれだ」という声もあったようですが、長原さんのすごいところは、とにかく行動すると。あらゆる人に会い、話し、説得する。この説得力がすごいんです。ケルンメツセ（ドイツの

国際家具見本市 ) への出展や、国際家具デザインフェア旭川 ( I F D A ) も長原さんが基礎を築いてくれました。

### 長原さんを「生き見本」として

長原さんは、家具業界にとって、百年に一人の人材だと思っています。私にとってはまさに「生き見本」。この人の目指す方向は間違いがない、と確信できるのです。こうした素晴らしい先輩と同じ業界・同じ時代を生きているということは、かけがえのない出会いだと感じています。旭川という家具産地は、昨日・今日にできたものではありません。大雪山系の豊かな森林に固まれた地域で、まず製材業が発達し、道立林産試験場や旭川市工芸センターなどの行政がバックアップしてきました。かつて、松倉定雄さんという優れた指導者があり、長原さんも「松倉塾」で学んだ一人です。こうした先輩たちが長年かけて築き上げてきたものを次の世代へとつなげていくのが、私たちの使命です。最後に長原さんと共に制定した「旭川・家具づくりびと憲章」をここに紹介し旭川家具が掲げる理念を継承することを誓いの言葉にかえさせていただきます。

<旭川家具憲章 (旭川家具づくりびと憲章) >人が喜ぶものをつくります。

- 一、旭川に生きる者として、世界の人々に長く愛用してもらえぬすぐれたデザインの道具を、丹精込めてつくります。
- 二、木のいのちを無駄にしません  
百年かけて育った樹木に感謝し、一本一本を生かしきるとともに、ミズナラの育つ森を次代に残すため植樹活動に取り組みます。
- 三、高品質なものを必要なぶんだけつくります  
材料の仕入れから製造、廃棄まですべての面で地球環境を意識し、質の高い製品を適正な量だけつくります。
- 四、修理して使い続けられるようにします  
レストアの体制を整えるとともに、修理や張り替えの容易な構造を工夫して次の世代まで使える家具をつくります。
- 五、次代の家具づくりびとを育てます  
これまで培った産学官一体の土壌を生かし、技術と文化を継承する人材を育成しながら、挑戦と実績を重ねていきます。



(故) 長原 實  
株式会社カンディハウス相談役

8:27 ニコニコボックス

本日のニコニコボックス 竹村陽子親睦委員長 (代) 坂本信一会員  
大貫亮介旭川北ローターリークラブ

: 米山奨学生とともに、お世話になり、ありがとうございました。  
今後ともよろしく願いいたします。

笹川和廣会員 : 今朝は快晴ですね。しばらくぶりで石北峠を越えますが、ゆっくり走ります。

平成27年11月19日現在累計金額

金 152,500円



8:28 出席報告

桑原義彦クラブ例会運営委員長

本日の出席	第1059回例会	総員 27名
	11月19日	出席 21名
	出席率	77.78%
修正出席	第1057回例会	総員 27名
	11月5日	出席 25名
	出席率	92.59%
実績平均出席率 (11月5日現) 16回		91.19%

※マークアップ

(敬称略) 小野寺 康充 (旭川東北RC)  
小野寺 康充 (旭川空港RC)



8:30 点鐘

高見会長終礼点鐘お願い致します。

